

ロシアのウクライナ侵攻に思う

ロシアによる「ウクライナ侵攻」が止まらない。(2月26日～)

圧倒的に物量で勝るロシアに、ウクライナ側は絶対抵抗をしているのだが。

この戦争の6週間にわたり、双方ともかなりの死者が出ている。

ウクライナ側に至っては、多くの民間人・女性・子供が無抵抗のうちに虐殺され続けている。

毎日の、ニュースを見ていてもいた堪れない。

この場に及んでも、国際社会は何と無力なのか。わずかな武器援助、避難民支援程度しかできないのか。



もし、NATO や米国が参戦の際は、プーチンは「戦略核を使用する」と世界を脅している。確かに核戦争は「世界の破滅」に通じる。

あのシュワルツネッカーの「ターミネーター」という映画が現実のものとなる可能性は高い。

(世界が核戦争で滅んだあとに、電子頭脳の支配する世界が始まる)

プーチンは「世界」を人質に自分の野望(ロシア支配の世界)を実現しようとしている。プーチンが暗殺されるような事態では、核爆弾のスイッチが自動的に入る。そのようなことが、行われるのだろうか。

この侵略戦争で、分かったこと

- ・ 「独裁政権」はかくも恐ろしい。独裁なくして「社会主義～共産主義」は維持できない。
(人間は、本来「自由人」であるのだから)
- ・ 日本の求める「北方領土返還」などは、「夢物語」。ロシアは決して領土を手放さない。むしろ、隙あらば、侵略し乗っ取りを考える。
- ・ 今回のウクライナ問題から、中国の世界制覇の野望が、躓いた。少なくとも10年以上は遅れるだろう。
- ・ 化石燃料(石炭、石油、ガス)に頼る危険性の自覚。特に欧米のロシアのエネルギー資源に依存する危うさ。

人種差別

ウクライナ避難民に対して、世界の後進国と言われた日本にして、今回の対応は早いのかもしれない。このようなことは、これまでのアジア、アフリカの難民に対して行われただろうか。

それは、日本人特有の「欧米人崇拜」からくる「人種差別」と一部のメディアは報じている。

私は、そうは思わない。少なくとも価値観の共有が出来る人々を身近に感じるのが人間の本能だろうから。

欧米からみると日本は「極東」の地。世界の果てなのかも。そんな日本にも、約2,000人程度のウクライナ人が住んでいたことは、驚きだった。

今後

一刻も早くこの侵略戦争を終わらせたい。

各個人が持っている能力のすべてを出して。